

序章 調査の概要

1 . 調査の目的

この調査は、市民の生活環境や行政に関する意見や意向を把握し、「第3次佐倉市総合計画・後期基本計画」策定のための基礎資料とします。

2 . 調査の設計

調査の設計は以下のとおりです。

また今回、市民意識の把握をより深めるため、別途「満足度調査」も実施しました。

調査地域	佐倉市全域
対象者	市内に在住する20歳以上の市民
調査の種類	健康・福祉について 生活環境について 文化・学習について 産業経済について 都市基盤について まちづくりの推進について 時系列等調査 以上、7種類。
対象者数	各調査1,000人(合計7,000人)
対象者抽出方法	住民基本台帳から層化多段無作為抽出
調査方法	郵送配布・回収
調査期間	平成16年11月18日～12月15日

【参考 満足度調査】

調査地域	佐倉市全域
対象者	連絡長が依頼した市民
調査の種類と内容	健康・福祉について 生活環境について 文化・学習について 産業経済について 都市基盤について まちづくりの推進について 以上、6種類。 内容は、前期計画の施策ごとに満足度評価を行うものです。
対象者数	各調査268人(合計1,608人)
調査方法	連絡長による配布・回収
調査期間	平成17年1月12日～2月4日

3 . 調査の内容

調査の種類	調査項目
健康・福祉について	基本属性、健康づくりや医療、高齢者の福祉や健康づくり、介護保険制度、障害者福祉、家庭・児童福祉、青少年の健全育成、取り組みに対する評価と今後取り組むべきこと、自由記入
生活環境について	基本属性、環境全般、日頃の環境問題への取り組み、印旛沼や谷津田・里山、防犯、消防・防災、消費者問題、環境に関する活動、市民と行政のパートナーシップ、取り組みに対する評価と今後取り組むべきこと、自由記入
文化・学習について	基本属性、人権、平和に関する取り組み、地域と連携した学校運営、学校開放、佐倉学、道徳意識、青少年の健全育成、生涯スポーツ、取り組みに対する評価と今後取り組むべきこと、自由記入
産業経済について	基本属性、農業、商工業、観光やイベント、取り組みに対する評価と今後取り組むべきこと、自由記入
都市基盤について	基本属性、身近な道路等、電線類地中化、公共交通機関、道の駅、公園や緑地等、景観、取り組みに対する評価と今後取り組むべきこと、自由記入
まちづくりの推進について	基本属性、広報・広聴、情報化、行政サービスのあり方、近所づきあいや自治会・町内会、コミュニティ、男女平等参画社会、取り組みに対する評価と今後取り組むべきこと、自由記入
時系列等調査	基本属性、住みごこち・定住意向、政策の評価と重点事業、道路環境、廃棄物行政、日常の買い物、自由記入

4 . 回収結果

調査の種類	配布数	有効回収数	有効回収率
健康・福祉について	1,000	595	59.5%
生活環境について	1,000	601	60.1%
文化・学習について	1,000	547	54.7%
産業経済について	1,000	577	57.7%
都市基盤について	1,000	634	63.4%
まちづくりの推進について	1,000	543	54.3%
時系列等調査	1,000	575	57.5%
合計	7,000	4,072	58.2%

5 . 集計・分析にあたって

(1) 回答率について

回答は、質問ごとに各項目の回答者数を回答者総数で除し、百分率（パーセント）で表示しました。算出された回答率は、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示しています。そのため、質問によっては、1人の回答者が1つだけ回答する場合（単数回答）でも、回答率の合計が100%ちょうどにならないものもあります。

また、1人の回答者が2つ以上の回答をしてもよい場合（複数回答）では、回答率の合計は100%を上回ることもあります。

(2) 表記について

表やグラフの中では、回答率（%）とともに、その設問に回答すべき数（回答者総数）も表示しています。ただし、スペースの都合により省略している場合もあります。

また、表、グラフ、本文中において、回答選択肢の表記は、スペースの都合により簡略化している場合があります。

(3) 時系列比較について

「第8章 時系列等調査」において、平成15、14、11年度に実施した市民意識調査と比較をしています。ただし、今回の調査結果と比較をわかりやすくするため、平成14年度の結果は再集計した数値を使用しています。

